

## 目標達成計画

作成日: 平成 27 年 4 月 20 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	(1)	介護未経験スタッフの入社によって、施設が目標とする「介護の質」の低下を防ぎたい。新入社員の段階的な教育システムが、未整備。	施設の運営理念に沿った介護を具現化する為に、介護の質を向上させて、ご入居者への更なるサービス向上を目指していきたい。	①業務トレーナー(ケアマネジャー・ホーム長)による基本介護技術の等の研修実施。 ②ひやりハットの検討を通し、実践課題への取り組み。 ③スタッフによる業務改善提案の募集。	3ヶ月
2	(2)	地域密着型施設としての位置が未だ十分確立されていない。地域住民に対し施設の内容が認知されていない。	地域の複合型施設として、地域住民の利便性を様々な方法で訴求して利用促進を図る。	①施設の開放(地域サークル・ボランティア) ②施設イベントの告知勧誘(介護情報含む) ③緊急時の支援体制の告知(車椅子、除細動器の貸与)	6ヶ月
3	(13)	緊急時の避難訓練を行う中でご入居者の完全避難に不安がある。特に夜間の避難体制の確立が急務。	施設として避難訓練を様々な機会を通じ実施して、ご入居者、スタッフの安全を確保していく。	①日常のレクレーションに避難訓練を実施。 ②スタッフ(特に夜勤者)に対して緊急避難訓練時の手順等を周知徹底する。 ③運営推進会議を通じ地域住民の緊急時支援対策を構築する。	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。